

平成31年度

鹿児島大学大学院農林水産学研究科（修士課程）

学生募集要項

（一般選抜）

（社会人特別選抜）

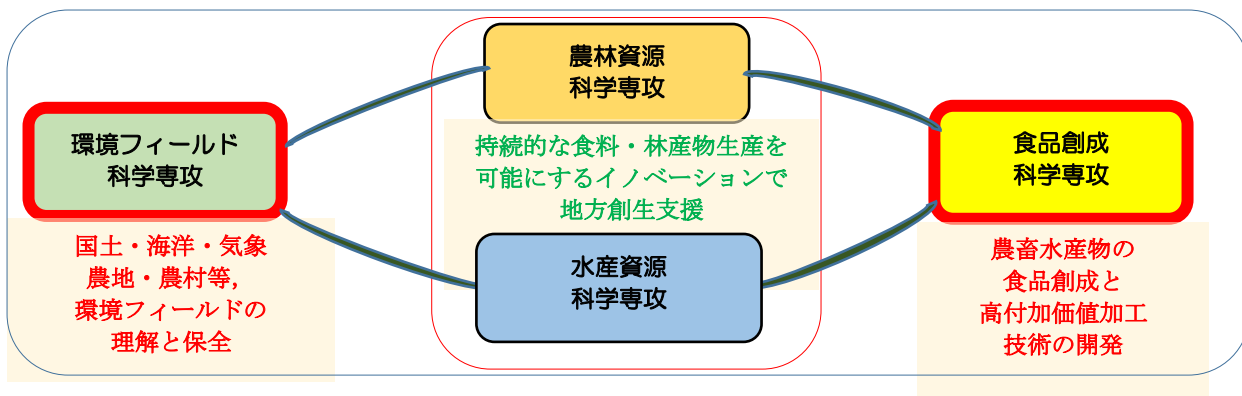
（外国人留学生特別選抜）

鹿児島大学大学院農林水産学研究科

改組の目的

大学院農学研究科と大学院水産学研究科の両研究科に求められる、IT化等による先進的スマート農畜林水産業を創出する人材や食の安全・品質保証・グローバル化に適応可能な人材の養成等、農学分野と水産学分野双方の高度な知識を有する人材育成に対応するため、既存の農学研究科の3専攻（生物生産学，生物資源化学，生物環境学）と既存の水産学研究科の5分野（水圏科学，水産資源科学，食品生命科学，水産経済学，水圏環境保全学）を統合し，農林資源科学，食品創成科学，環境フィールド科学，水産資源科学の4専攻からなる農林水産学研究科を設置するものです。

① 大学院農林水産学研究科の全体像



② 養成する人材像

大学院農林水産学研究科は，人の健全な生活の基盤である農林水産業，食，環境，生命科学などの分野に関する高度な専門教育を行い，農学及び水産学が取り扱う分野における高度な研究・開発能力を備え，地域に貢献できる人材，さらには世界で活躍できる人材を養成します。

なお，各専攻の養成する人材像は次のとおりです。

・農林資源科学専攻

農林畜産資源に関する高度な専門教育並びに実践教育と高度な技術・理論を習得し，国際的かつ日本の主要な農業生産地帯である南九州を基盤とした地域社会において，農林畜産業の振興と発展，問題点抽出とその解決に際して，指導的立場で中心的役割を果たせる人材を養成します。

・食品創成科学専攻

農畜水産資源に関する食品学，先端生命科学，応用食品開発学及び加工・保蔵学，並びに焼酎・発酵食品，微生物に関するより高度な専門知識を身につけ，課題解決方法の提起やその実現のための技術を習得した食品・生命科学関連産業における指導的立場での解決能力を示せる人材を養成します。

・環境フィールド科学専攻

南西諸島と南九州周辺の陸域・海域に特有の気候，環境，災害，生物資源，及びそれらの関連性を理解するための高度な科学的知識，さらに，当該地域の環境保全，生産環境・基盤に関する実践的知識と先進技術を身につけ，これらに関わる問題点の抽出とその解決策の提案を通して地域の一次産業の振興に貢献し，地域社会において中心的役割を果たせる人材を養成します。

・水産資源科学専攻

水産政策学，水産流通学，資源生物学，資源生産学，増養殖学，環境保全学に関わる専門教育を行い，水産業を取り巻く社会経済，資源，漁業技術，増養殖技術，漁場環境に関わる多様な課題やその課題に対する改善アプローチについての総合的かつ専門的理解を持ち，地域や国際社会で水産業の発展に活躍できる人材を養成します。

鹿児島大学大学院農林水産学研究科

教育研究上の目的

植物生産科学，畜産科学，地域ビジネス，食品流通，養殖，食品創成に関する生産活動，食と健康及びそれらの基盤となる地域の環境特性，亜熱帯化，森林管理，防災，水産資源，地域の生物環境の高度な専門知識を有し，課題解決方法の提案やその実現の実践力を培います。また，農畜林水産業や食品産業における問題を提起し，地域社会において指導的立場での解決策を示す実践力を培います。

入学者受入方針（アドミッションポリシー）

本研究科は，教育目標に定める人材を育成するため，次のような学生を求めています。

農林水産学研究科

農学，畜産学，森林科学，水産学及び関連科目に関し十分な学力を備え，未知なる事柄に対して自発的に取り組む意欲的な人。農畜林水産業や食品産業の振興及び地方創生活動に高い関心のある人。

○ 農林資源科学専攻

農林畜産業とその生産環境や人間社会の関わりに関する高度な専門的知識・技術を備え，農林畜産物の生産・加工・流通を通して，地域再生に関する問題解決に臨む意欲がある人。

○ 食品創成科学専攻

高度な生命科学，物質科学に関し，十分な学力を備え，未知なる事柄に対して自発的に取り組む意欲的な人。陸上及び水生動植物・微生物の生命現象や食の安全，食品機能，発酵に高い関心のある人。

○ 環境フィールド科学専攻

陸域・海域の環境と生物，両者の関わりを科学的に理解することに関心があり，その知識を基に，日本有数の食料生産基地である環黒潮圏の農業・水産業，環境保全及び防災・減災に関する問題解決に臨む意欲がある人。

○ 水産資源科学専攻

漁業技術，資源生物，環境化学に関し十分な学力を備え，環境・生物と人間社会の関わりを科学的に理解することに関心がある人。持続的水産業の確立を目指し，漁業技術，養殖技術，水産資源管理技術，漁場保全技術の問題解決に取り組む意欲のある人。

目 次

頁

【一般選抜，社会人特別選抜】

I 募集人員	1
II 出願資格	1
III 出願資格審査	2
IV 出願書類等	4
V 出願手続	5
VI 選抜方法	6

【外国人留学生特別選抜】

I 募集人員	1 1
II 出願資格	1 1
III 出願資格審査	1 2
IV 出願書類等	1 3
V 出願手続	1 3
VI 選抜方法	1 5

【共通事項】

I 合格者発表	1 6
II 入学手続	1 6
III その他	1 7
1. 障害を有する入学志願者の事前相談	
2. 社会人学生に対する修学上の配慮	

専攻・教育コースの内容

入学者選抜試験個人成績の開示

出願書類様式

大学院入学試験日程

○ 第1次募集（一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜）

事 項	日 時
出願資格審査申請	平成30年8月29日（水）～9月4日（火）
出 願 期 間	平成30年9月18日（火）～9月21日（金）
試 験 期 日	平成30年10月31日（水）
合 格 者 発 表	平成30年11月16日（金）
入 学 手 続	平成31年3月6日（水）～3月7日（木）

○ 第2次募集（一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜）

事 項	日 時
出願資格審査申請	平成30年11月1日（木）～11月7日（水）
出 願 期 間	平成30年12月3日（月）～12月7日（金）
試 験 期 日	平成31年1月23日（水）
合 格 者 発 表	平成31年2月13日（水）
入 学 手 続	平成31年3月6日（水）～3月7日（木）

※ 出願に係る個人情報保護について

個人情報保護に関しては、以下のとおり取り扱いますのでご了承願います。

- 1 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人鹿児島大学が保有する個人情報の保護管理に関する規則」に基づいて取り扱います。
- 2 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績の個人情報については、本学の入学者選抜・合格者発表、追跡調査及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理、修学指導、授業料免除・奨学金の審査及び授業料の債権管理等を行うためのみ利用し、他の目的には利用しません。

【 一般選抜，社会人特別選抜 】

I 募集人員

専攻名	入学定員	第1次募集		第2次募集	
		一般選抜	社会人特別選抜	一般選抜	社会人特別選抜
農林資源科学	39	35	若干人	4	若干人
食品創成科学	26	23	若干人	3	若干人
環境フィールド科学	16	14	若干人	2	若干人
水産資源科学	20	18	若干人	2	若干人

(注1) 社会人特別選抜の募集人員は，一般選抜の募集人員に含む。

(注2) 第1次募集の合格者が募集人員に満たなかった場合は，第2次募集に含めて募集する。

II 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で，かつ，選抜方法による要件に該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者(学位授与機構から学士の学位を授与された者)及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において，学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において，外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣が指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (8) 本研究科において，個別の出願資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で，平成31年3月末において22歳に達する者(注1)
- (9) 平成31年3月末において大学に3年以上在学し，所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科が認めた者(注2)
- (10) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において，修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により，学士の学位に相当する学位を授与された者

1. 一般選抜

一般選抜に出願できる者は、出願資格を満たしている者

2. 社会人特別選抜

社会人特別選抜に出願できる者は、出願資格を満たしている者で、次のいずれかに該当する者

- ① 2年以上（平成31年3月31日までの間）教育・研究機関、官公庁、企業等（農林水産業、青年海外協力隊及びNPOの実績も含む）において志願する専攻等の教育研究分野に関連した現業に従事している者又は従事した者
- ② 本研究科において上記①に準ずるものとして認めた者

(注1) 出願資格(8)における個別の出願資格審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で大学卒業資格を有していない者について、大学を卒業した者と同等以上の学力があるか審査を行うものです。これにより出願を希望する場合は個別の事前審査が必要です。詳細は次項を参照してください。

(注2) 出願資格(9)における個別の出願資格審査は、一般選抜の第2次募集に係る出願時のみに適用します。

Ⅲ 出願資格審査

1. 出願資格(8)(9)の個別出願資格審査について

区 分	出 願 資 格 審 査 申 請 期 間	審査結果通知発送予定日
第1次募集	平成30年8月29日(水)～9月4日(火)17時必着	平成30年9月中旬
第2次募集 (注)	平成30年11月1日(木)～11月7日(水)17時必着	平成30年11月26日(月)

(注) 出願資格(9)による個別の出願資格審査は、第2次募集のみ該当する。

(1) 出願資格の照会

出願資格(8)(9)による出願者は、事前に出願資格審査を行いますので、出願資格審査申請期限の前までに、農学部・共同獣医学部等学務課学生係で出願資格審査申請書を受け取ってください。

なお、郵送による請求の場合は「速達書留」とし、封筒の表に「大学院農林水産学研究科出願資格審査申請書請求」と朱書きして、宛名を明記した返信用封筒（角形2号に400円分の切手を貼付）を同封の上、出願資格審査申請期限に間に合うように請求してください。

(2) 書類の提出

本研究科の指定する(4)の書類を一括して出願資格審査申請期限までの期間（9時～17時）に農学部・共同獣医学部等学務課学生係に提出してください。

なお、郵送の場合は必ず「速達書留」とし、封筒の表に「大学院農林水産学研究科出願資格審査申請書在中」と朱書きし、出願資格審査申請期限までに必着とします。

(3) 事前審査の結果通知

審査の結果は、本人宛に発送します。

(4) 出願資格審査提出書類

	提出書類	備考	出願資格	
			(8)	(9)
①	入学試験出願資格審査申請書	・本研究科所定のもの	○	○
②	志望理由書	・本研究科所定のもの（1,000字程度）	○	○
③	在学中の大学の成績証明書, 在学期間証明書及び単位修得見込証明書	・学部3年次前期までの所定の単位・科目の成績を証明したもの ・単位修得見込証明書は, 現在履修中で平成31年3月末までに修得見込みの科目等を証明したもの（本学の者は不要）	—	○
④	在学中の大学の教育課程表	・学年毎の修得すべき科目等が分かる教育課程表等の写し（本学の者は不要）	—	○
⑤	履歴書	・本研究科所定のもの	○	—
⑥	最終出身学校の成績証明書及び卒業証明書	・発行者において厳封したもの（改ざん防止用の用紙で作成してある場合は厳封不要）	○	—
⑦	活動歴報告書	・現在までの教育・研究等の活動歴や実務経験等について, 本人の業績（研究論文, 技術報告書, 特許, 実用新案, その他参考となる資料等）を含め, 具体的に記述したもの	○	—
⑧	返信用封筒	・郵便番号, 住所, 氏名を明記の上, 362円分の切手を貼付した長形3号封筒を同封すること	○	○

(注) 出願資格欄の「○」は必ず提出, 「—」は不要を示す。

2. 出願資格(9)について（学部3年次を対象とする出願資格審査）

(1) 認定基準

出願資格(9)の認定基準は, 次のすべてに該当する者とします。

① 在学期間

平成31年3月末において, 在学期間が3年間に達する者。ただし, 休学期間は在学期間に算入しない。

② 修得単位

3年次末までに, 在籍大学において定められた卒業要件単位（4年次に修得すべき授業科目単位は除く）を修得する見込みの者

③ 学業成績

成績証明書に記載されている卒業要件単位数の8割以上が優以上（100分の80点以上）であること。

(2) 注意事項

① 入学試験に合格した者は, 平成31年3月に成績証明書を提出すること。提出された成績証明書の内容が上記の基準を満たさない場合は合格を取り消します。

② この制度によって本研究科に入学した場合, 学部学生としての学籍上の身分は退学となります（在学する大学において退学の手続きを行ってください）。学部卒業が必要となる各種の資格及び受験資格は取得できないためご注意ください。

③ 本研究科修士課程入学後, 1年以上在学し必要な単位を取得した場合, 「学位授与機構」に学士の学位授与を申請することができます。

IV 出願書類等

区 分	摘 要	選 抜 方 法	
		一般	社会人
① 入学願書・履歴書・ 受験票・写真票	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科所定の用紙に必要事項を記入すること ・写真（4 cm×3 cm）は上半身・脱帽・正面向きで出願前3か月以内に撮影したものを所定の箇所に貼付すること 	○	○
② 入学検定料納付確認票	<ul style="list-style-type: none"> ・入学検定料は30,000円です ・本学所定の用紙を用いて郵便局窓口で検定料を払い込み、受け取った「振替払込受付証明書（お客さま用）」を本用紙に貼付して提出してください。その際、日附印欄の押印を確認してください ・既納の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません <ul style="list-style-type: none"> ア) 入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合 イ) 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合 	○	○
③ 志望理由書	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科所定の用紙に1,000字程度でまとめること 	○	○
④ 卒業証明書又は卒業見込証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学長（学部長・校長等）が作成したもの（本学農学部及び水産学部を卒業見込みの者は不要） ・出願資格(2)に該当する志願者は次の書類を提出すること <ul style="list-style-type: none"> ア) 学位取得者：「学位記」の写し又は「学位取得証明書」 イ) 学位取得見込者：在籍する短期大学又は高等専門学校の長が発行する「修了見込証明書」及び「学士の学位の授与を申請する予定である旨の証明書」 	○	○
⑤ 成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・発行者において厳封したもの（改ざん防止用用紙で作成している場合は厳封不要） 	○	○
⑥ 出願承諾書	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科所定の用紙により、研究指導予定教員が作成したもの 	—	○
⑦ 研究計画書	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科において行おうとする研究内容を2,000字程度でまとめること（様式任意） 	—	○
⑧ 活動歴報告書	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の業績（研究論文、技術報告書、特許、実用新案、その他参考となる資料）の目録と内容（概略）を示すもの（様式任意） 	—	○
⑨ 受験許可書	<ul style="list-style-type: none"> ・教育・研究機関、官公庁又は企業等に在職中の者のみ提出 ・本研究科所定の用紙により勤務先の所属長等が記入したもの 	—	該当者
⑩ 住民票(写)又はパスポート(写)	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の志願者（日本国籍を有しない者）のみ提出 ・日本に在住する外国人は、市区町村長の発行する在留資格が記載された住民票の写し ・国外に在住する外国人は、パスポートの写しを提出すること 	該当者	該当者
⑪ 宛名ラベル	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科所定の用紙に必要事項を記入すること 	○	○
⑫ 返信用封筒	<ul style="list-style-type: none"> ・郵便番号・住所・氏名を明記の上、362円分の切手を貼付した長形3号封筒を同封すること 	○	○

(注1) 出願書類が日本語又は英語以外の言語で作成されている場合は、日本語もしくは英語の翻訳文を原本とともに提出すること。

(注2) 選抜方法欄の「○」は必ず提出、「該当者」は該当者のみ提出、「—」は不要を示す。

V 出願手続

1. 出願期間

区 分	期 間	発送予定日 (注)
第1次募集	平成30年9月18日(火)～9月21日(金)17時(必着)	10月中旬
第2次募集	平成30年12月3日(月)～12月7日(金)17時(必着)	12月20日(木)

(注) 出願書類を受け付け後、「受験票」等の発送予定日を示す。

2. 提出先

上記書類を一括して所定の期日までに、農学部・共同獣医学部等学務課学生係へ持参又は郵送してください。郵送の場合は速達書留とし、封筒の表に「大学院農林水産学研究科入学願書在中」と朱書きしてください。

郵送の場合：〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番24号
鹿児島大学農学部・共同獣医学部等学務課学生係
TEL：099-285-3553 FAX：099-285-3533

3. 出願上の留意事項

- (1) 願書を提出する際は、入学後に研究指導を希望する教員(研究指導予定教員)に必ず事前に連絡を取ってください。
- (2) 出願書類等に不備があるものは受け付けません。
- (3) 出願書類受理後は、いかなる理由があっても記入事項及び書類の変更は認めません。また、検定料の払い戻しは行いません。
- (4) その他、不明の点があれば、上記2の出願書類提出先に問い合わせてください。

VI 選抜方法

1. 入学者選抜

入学者の選抜は、次により実施します。なお、提出された出願書類は選抜の際の基礎資料とします。

(1) 一般選抜：

筆記試験（英語，専門科目）及び面接試験により総合的に評価し，判定します。

(2) 社会人特別選抜：

面接試験により総合的に評価し，判定します。

2. 試験の日時・場所

(1) 第1次募集

試験期日・科目等 試験時間	平成30年10月31日（水）			試験場
	筆記試験		面接試験	
	専門科目	英語		
選抜区分	9：00～10：30	11：20～12：40	14：00～	
一般選抜	○（注1）	○	○	鹿児島大学 農学部(注2)
社会人特別選抜			○	

（注1） 大学在学中の学業成績が優秀であると認められる場合は，専門試験を免除する。

（専門科目の免除の有無は，受験票の発送の際に同封して通知する。）

（注2） 詳細は，受験票の発送の際に通知する。

(2) 第2次募集

試験期日・科目等 試験時間	平成31年1月23日（水）			試験場
	筆記試験		面接試験	
	専門科目	英語		
選抜区分	9：00～10：30	11：20～12：40	14：00～	
一般選抜	○	○	○	鹿児島大学 農学部(注)
社会人特別選抜			○	

（注） 詳細は，受験票の発送の際に通知する。

3. 配点

区 分		英語	専門科目	面接試験
第1次募集	一般選抜	135点	100点	(注)
第2次募集	社会人特別選抜			(注)

（注） 面接試験は，段階評価とする。なお，面接試験の成績が著しく低い場合は，合格の対象としない。

4. 筆記試験

(1) 英語

本研究科の試験日に本研究科試験場で実施する TOEFL-ITP テスト(Level 1)により行います。配点は、TOEFL-ITP の Section 2 (Structure and Written Expression) と Section 3 (Reading Comprehension) の各素点の合計を利用し、Section 1 (Listening Comprehension) は課しません。

(注) TOEFL-ITP は、TOEFL テストの作成元である Educational Testing Service (ETS) が提供する団体向けテストプログラムです。TOEFL-ITP テストの受験に際し、別途手続き及び受験料の支払い等は発生しません。

なお、過去に受験した TOEFL-ITP テストのスコアカードは、本研究科の英語の成績として利用しません。

(2) 専門科目

専門科目一覧(次頁参照)中の志望するコースの科目群から1科目を出願時に選択します。

ただし、第1次募集にあつては、大学在学中の学業成績が優秀であると認められた者は、志願者のうち学業成績上位4割以内について、専門科目を免除することがあります。(専門科目の免除の有無は、受験票の発送の際に同封して通知します。)

※ 出願時に提出された成績証明書に GPA の表示がある場合は、GPA の計算式等を示す規則等の写しを、GPA の表示がない場合は成績評価の区分(例 秀:90~100点, 優:80~89点…)を示す規則等の提出が必要になります。(本学の卒業者及び卒業見込み者は提出不要)

(注) 第2次募集では、専門科目の免除はありません。

※ *印の科目は、大学が準備した電卓を貸与し、使用を認めることがあります。

5. 面接試験

個人面接とし、15分程度で口頭試問を含めて行います。なお、社会人特別選抜については、20分程度で行います。

6. 合否判定基準

(1) 一般選抜:

筆記試験の英語及び専門科目の得点が一定の基準を満たしている者について、英語の得点により順位付けし、面接試験の結果と総合して決定します。なお、得点が高点の場合は同位とします。

(2) 社会人特別選抜:

面接試験により総合的に評価し、判定します。なお、評価が高点の場合は、同位とします。

専門科目一覧 *印の科目は、大学が準備した電卓を貸与し、使用を認めることがあります。

専攻	コース	科目群	キーワード
農林資源科学	植物生産科学	作物学	光合成, 乾物生産, 起源, 形態, 生長と発育, 収量構成要素, 環境応答, ストレス耐性
		熱帯作物学	非生物ストレス, 嫌気応答, クロロフィル蛍光, 光合成, 植物機能性, 有用遺伝資源, 救荒作物, 不良環境, 遺伝子型・環境型交互作用, 植物ホルモン
		比較環境農学	乾燥地農業, 熱帯湿潤地域農業, 植物形態・生理, 植物の耐塩性・耐乾性, 沙漠化・地球温暖化防止, 環境修復, 新作物栽培技術開発
		作物生態学	乾物生産, 共生窒素固定, 作物収量, 生産環境, 相互作用
		植物育種学	遺伝変異の拡大, 選抜と固定, 生殖様式, 生殖隔離, DNA マーカー, 遺伝資源, 栽培化, 遺伝子, 染色体, 連鎖
		果樹園芸学	開花・結実, 果実成長・成熟, 収穫後生理, 繁殖, 栽培管理, 永年性・木本性, 環境, 品種・育種, 病害虫
		蔬菜園芸学	環境ストレス応答, 植物ホルモン, 植物間相互作用, シグナル伝達, 遺伝子発現, 遺伝資源, 遺伝的多様性
		観賞園芸学	花色, 開花生理, 遺伝育種, 組織培養, バイオテクノロジー, 二次代謝, 繁殖, 倍数性, 突然変異育種, 遺伝子解析
		害虫学	IPM, 天敵利用, 化学的防除, 物理的防除, 害虫
		植物栽培・機能学	栽培技術, 増収, 品質向上, 農作業, 植物成長調節物質, 生理活性, 有用成分
		土壌科学	土壌生態系, 物質循環, 土壌微生物, 植物共生微生物, 植物-微生物相互作用, 土壌の構造と機能
	植物栄養・肥料学	必須元素, 養分の吸収と移行(転流), 光合成, 窒素の同化, 窒素固定, イオウの代謝, 栄養診断, 施肥法, 化学肥料, 有機質資材	
	畜産科学	家畜繁殖学	繁殖・生殖, 精子・卵子形成, 受精, 初期発生, 着床・妊娠, 分娩, 発生工学, 人工繁殖
		家畜育種学	改良, 野生種, 在来種, 品種, 変異, DNA, 遺伝子発現
		家畜管理学	飼養管理, 環境, 行動, 飼料と草地, 衛生, 舎飼いと放牧, 施設
		家畜生体機構学	形態(マクロ・ミクロ), 組織, 器官, 解剖, 生体機能, 生産性
		栄養生化学・飼料化学	栄養生理, 栄養要求量, 体タンパク質・脂質代謝, 初期栄養, 腸内環境, 未利用・新規飼料資材, 肉質改変(食味と機能性)
		食肉科学	食肉, 肉質, 産肉性, おいしさ, 機能性成分, 熟成と調理法, 飼養方法, 品種と肉質, 代謝プログラミングと肉質, 食肉質とマーケティング
	森林科学	森林科学	森林計画学, 育林学, 森林政策学, 木質資源利用学, 森林保護学, 砂防・水文学, 森林教育学, 森林利用学
	食料農業経済学	農業経済学	農産物貿易, 食料問題, 経済発展と農業, 農産物の需要と供給, 土地問題, 産業政策, 地域政策, 農業環境問題
		農業市場学	流通の機能と組織, 価格形成, 取引, 市場対応, 効率化, 食の安全・安心
		農業経営学	経営部門, 企業形態, 生産費, 経営管理, 経営戦略, 多角化, 経営者, 経営資源, ビジネスモデル, サプライチェーン

専攻	コース	科目群	キーワード
食品創成科学	食品科学	食品分子機能学(農学系)	食品三次機能, 食品成分の機能, 食品とがん予防作用, 腸内細菌調整, 生活習慣病予防, 機能性食品
		食品化学(農学系)	機能性タンパク質, ペプチド, 卵白, 牛乳, 乳酸菌, 抗菌性タンパク質, ワクチン, 感染防御, 分子デザイン
		食品保蔵学(農学系)	収穫後農産物の生理, 呼吸, エチレン, 低温障害, 水分活性, 殺菌, フィルム包装, 鮮度, 色素成分
		食料環境システム学(農学系)	品質管理, 食の安全, 食品残渣, HACCP, メタン発酵, 電解水, 光学分析
		食品化学(水産学系)	食品成分の化学, 機能性成分, 食の安全, 天然有機化合物, 食品微生物
		食品保蔵学(水産学系) *	魚肉タンパク質の特性, 水分活性, 鮮度, 低温貯蔵, 殺菌, 包材, ガス置換包装
		生物化学(水産学系)	生体分子の構造, 酵素, 糖質の代謝, 好氣的代謝, 脂質の代謝, 窒素の代謝
		分子生物学(水産学系)	DNA, RNA, 染色体, 遺伝子発現, 遺伝子工学の基礎
	先端生命科学	生物化学(農学系)	糖質の構造と機能, タンパク質の構造と機能, 脂質の構造と機能, ビタミン・ミネラルの構造と機能, 酵素反応, 遺伝子の構造と遺伝子発現, 生体成分の代謝と生合成 ※複数問の中から選択して解答する。
		食品化学(水産学系)	食品成分の化学, 機能性成分, 食の安全, 天然有機化合物, 食品微生物
		食品保蔵学(水産学系) *	魚肉タンパク質の特性, 水分活性, 鮮度, 低温貯蔵, 殺菌, 包材, ガス置換包装
		生物化学(水産学系)	生体分子の構造, 酵素, 糖質の代謝, 好氣的代謝, 脂質の代謝, 窒素の代謝
		分子生物学(水産学系)	DNA, RNA, 染色体, 遺伝子発現, 遺伝子工学の基礎
	焼酎発酵・微生物科学	焼酎発酵・微生物科学 *	焼酎製造学, 醸造微生物学, 応用分子微生物学, 植物病理学 ※複数問の中から選択して解答する。

専攻	コース	科目群	キーワード
環境フィールド科学	生物環境科学	水圏生物学	魚類, 無脊椎動物, 水圏植物, 分類, 形態, 生態
	環境システム科学	生産環境工学 *	水理学, 農業水利, 農地工学, 地盤工学, 農地保全, 農村環境整備
		環境システム学 *	農業機械, 環境保全, 環境計測, 農業気象, 農業情報解析
		基礎数学・力学	数学内容: 三角関数, 指数関数, 対数関数, 複素数, ベクトル, 行列, 微分, 積分, 線形常微分方程式 力学内容: 運動の法則, 質点系の運動, 剛体のつりあい, 剛体の運動と重心, 浮力
水産資源科学	生物資源科学	漁具漁法学	漁具, 漁法, 漁獲過程, 資源の持続的利用, 漁業技術管理, 水生動物の感覚と行動
		資源生産工学	漁具設計の基礎 (漁具の成立条件を含む), 水産資源の調査・管理に関する電子工学, 水産音響学
		水産資源学	水産資源, 年齢と成長, 成熟と産卵, 分布と回遊, 加入と生残, 資源量推定, 乱獲
	増養殖学	水産増養殖学	増養殖, 餌料生物, 栄養要求, 栄養生理, 発生工学, 繁殖, 生殖細胞, 感染症, 免疫
	環境保全学	水質保全学	有害物質, 環境汚染, 生態毒性, 生物濃縮, 水質基準, 環境修復, 環境指標と基準値
		水圏環境微生物学	ウイルス, 細菌, 微細藻類, 有害有毒藻類ブルーム, 富栄養化, バイオレメディエーション, 水圏バイオマス
	流通・政策学	水産流通学	水産物流通, 水産物消費, 卸売市場, 価格, 需給
		水産政策学	漁業経営, 漁業権, 漁業協同組合, 資源管理型漁業, 地域活性化, 水産政策, 労働力

【 外国人留学生特別選抜 】

I 募集人員

専攻名	第1次募集	第2次募集
農林資源科学	若干人	若干人
食品創成科学	若干人	若干人
環境フィールド科学	若干人	若干人
水産資源科学	若干人	若干人

(注1) 外国人留学生特別選抜の募集人員は、一般選抜の募集人員を含む。

II 出願資格

外国人留学生特別選抜に出願できる者は、外国籍を有する者（入学に支障のない在留資格を有する者又は取得見込みの者）で、かつ、次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 大学を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者(学位授与機構から学士の学位を授与された者)及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が四年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣が指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成31年3月末において22歳に達する者（注）
- (9) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって(5)号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者

(注) 出願資格(8)における個別の出願資格審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者等で大学卒業資格を有していない者について、大学を卒業し

た者と同等以上の学力があるか審査を行うものです。これにより出願を希望する場合は個別の事前審査が必要です。

Ⅲ 出願資格審査

1. 出願資格(8)の個別出願資格審査について

区 分	出願資格審査申請期間	審査結果通知発送予定日
第1次募集	平成30年8月29日(水)～9月4日(火)17時必着	平成30年9月中旬
第2次募集	平成30年11月1日(木)～11月7日(水)17時必着	平成30年11月26日(月)

(1) 出願資格の照会

出願資格(8)による出願者は、事前に出願資格審査を行いますので、出願資格審査申請期限の前までに、農学部・共同獣医学部等学務課学生係で出願資格審査申請書を受け取ってください。

なお、郵送による請求の場合は「速達書留」とし、封筒の表に「大学院農林水産学研究科出願資格審査申請書請求」と朱書きして、宛名を明記した返信用封筒（角形2号に400円分の切手を貼付）を同封の上、出願資格審査申請期限に間に合うように請求してください。

(2) 書類の提出

本研究科の指定する(4)の書類を一括して出願資格審査申請期限までの期間（9時～17時）に農学部・共同獣医学部等学務課学生係に提出してください。

なお、郵送の場合は必ず「速達書留」とし、封筒の表に「大学院農林水産学研究科出願資格審査申請書在中」と朱書きし、出願資格審査申請期限までに必着とします。

(3) 事前審査の結果通知

審査の結果は、本人宛に発送します。

(4) 出願資格審査提出書類

	提出書類	備考
①	入学試験出願資格審査申請書	・本研究科所定のもの
②	履歴書	・本研究科所定のもの
③	志望理由書	・本研究科所定のもの（1,000字程度）
④	最終出身学校の成績証明書と卒業証明書	・発行者において厳封したもの（改ざん防止用の用紙で作成してある場合は厳封不要）
⑤	活動歴報告書	・現在までの教育・研究等の活動歴や実務経験等について、本人の業績（研究論文、技術報告書、特許、実用新案、その他参考となる資料等）を含め、具体的に記述したもの
⑥	返信用封筒	・郵便番号、住所、氏名を明記の上、362円分の切手を貼付した長形3号封筒を同封すること

IV 出願書類等

区 分		摘 要
①	入学願書・履歴書・ 受験票・写真票	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科所定の用紙に必要事項を記入すること ・写真（4 cm×3 cm）は上半身・脱帽・正面向きで出願前3か月以内に撮影したものを所定の箇所に貼付すること
②	入学検定料納付確認票	<ul style="list-style-type: none"> ・入学検定料は30,000円です ・本学所定の用紙を用いて郵便局窓口で検定料を払い込み、受け取った「振替払込受付証明書（お客さま用）」を本用紙に貼付して提出してください。その際、日附印欄の押印を確認してください ・既納の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません <ul style="list-style-type: none"> ア) 入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合 イ) 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合 ・日本政府（文部科学省）奨学金留学生は不要。国費留学生証明書等を添付すること
③	志望理由書	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科所定の用紙に1,000字程度でまとめること
④	卒業証明書又は卒業見込証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学長（学部長・校長等）が作成したもの
⑤	成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・発行者において厳封したもの（改ざん防止用用紙で作成してある場合は厳封不要）
⑥	住民票（写）又はパスポート（写）	<ul style="list-style-type: none"> ・日本に在住する外国人は、市区町村長の発行する在留資格が記載された住民票の写しを提出すること ・国外に在住する外国人は、パスポートの写しを提出すること
⑦	出願承諾書	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科所定の用紙により、研究指導予定教員が作成したもの
⑧	研究計画書	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科において行おうとする研究内容を2,000字程度でまとめること（様式任意）
⑨	宛名ラベル	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科所定の用紙に必要事項を記入すること
⑩	返信用封筒	<ul style="list-style-type: none"> ・郵便番号・住所・氏名を明記の上、362円分の切手を貼付した長形3号封筒を同封すること

（注）出願書類が日本語又は英語以外の言語で作成されている場合は、日本語もしくは英語の翻訳文を原本とともに提出すること。

V 出願手続

1. 出願期間

区 分	期 間	発送予定日（注1）
第1次募集	平成30年9月18日（火）～9月21日（金）17時（必着）	10月中旬
第2次募集	平成30年12月3日（月）～12月7日（金）17時（必着） （注2）	12月20日（木）

（注1）出願書類を受付後、「受験票」等の発送予定日を示す。

（注2）第2次募集の出願者で、事情により出願期間内に書類提出が難しい場合は、事前に指導教員及び問い合わせ先へ相談すること。

2. 提出先

上記書類を一括して所定の期日までに、農学部・共同獣医学部等学務課学生係へ持参又は郵送してください。

郵送の場合は速達書留とし、封筒の表に「大学院農林水産学研究科入学願書在中」と朱書きしてください。

郵送の場合：〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目 21 番 24 号
鹿児島大学農学部・共同獣医学部等学務課学生係
TEL：099-285-3553 FAX：099-285-3533

3. 出願上の留意事項

- (1) 願書を提出する際は、入学後に研究指導を希望する教員（研究指導予定教員）に必ず事前に連絡を取ってください。
- (2) 出願書類等に不備があるものは受け付けません。
- (3) 出願書類受理後は、いかなる理由があっても記入事項及び書類の変更は認めない。また、検定料の払い戻しは行いません。
- (4) その他、不明の点があれば、上記2の出願書類提出先に問い合わせてください。

4. 入学検定料を海外の金融機関から海外送金により支払う場合

海外からの出願者は、次に示した要領で入学検定料 30,000 円を金融機関から海外送金する必要があります。ただし、送金に要する手数料は出願者が負担し、振込後、外国送金依頼書の写しを出願書類に同封してください。

- ① 「電信送金 (Telegraphic transfer)」で送金してください。
- ② 支払い方法を「通知払い (Advice and pay)」としてください。
- ③ 送金目的を「入学検定料 (Application fee)」としてください。
- ④ 送金依頼人 (Remitter) は志願者本人の氏名としてください。
- ⑤ 送金は「円建て (Yen basis)」で行い、金額に過不足が生じないようにすること。日本国外から振込む場合、振込には「被任向送金手数料 (Remittance charge)」と日本の銀行での「円為替手数料 (Yen exchange charge)」が必要になります。この「被任向送金手数料 (Remittance charge)」と「円為替手数料 (Yen exchange charge)」は、「依頼人負担 (Paid by the remitter)」となります。送金依頼書の連絡事項欄 (Message to payee) に「PAY IN FULL」と記載してください。

送金金額 (Amount of remittance) : 「入学検定料 (Application fee 30,000 円)」 + 「送金手数料 (Remittance charge)」 + 「円為替手数料 (Yen exchange charge)」

入学検定料が正しく送金されない場合、入学願書は受理されません。

- ⑥ 送金後、納入したことを、ただちに上記2の出願書類提出先 nkgaku@kuas.kagoshima-u.ac.jp までメールで連絡してください。
- ⑦ 送金先詳細 Information on recipient of payment

銀行名 Paying bank	鹿児島銀行 KAGOSHIMA BANK
送金先の銀行コード Swift code	KAGOJPJT
銀行住所 Bank address	〒890-0056 鹿児島市下荒田 4 丁目 46-20 (Shimoarata 4-46-20, Kagoshima, 890-0056, Japan)
受取人口座番号 Account number	鴨池支店普通預金 1262068, 1262068, KAMOIKE BRANCH

受取人 Account name 国立大学法人 鹿児島大学長 前田 芳實
(President, Dr. Yoshizane Maeda)
受取人住所 Address 〒890-8580 鹿児島市郡元一丁目 21-24
鹿児島大学財務部経理課収入係
Korimoto 1-21-24, Kagoshima, 890-8580, Japan
受取人電話番号 Telephone number TEL 099-285-3355

VI 選抜方法

1. 入学者選抜

入学者の選抜は、面接試験により総合的に評価し、判定します。ただし、国費留学生等で選抜試験当日に渡日することができないと本研究科が認めた場合には、Web 面接等による面接試験により総合的に評価し、判定することがあります。

なお、提出された出願書類は選抜の際の基礎資料とします。

2. 試験の日時・場所

(1) 第1次募集

試験科目	試験期日・試験時間	試験場
面接試験	平成30年10月31日(水) 14:00～	鹿児島大学農学部 (注)

(注) 詳細は、受験票の発送の際に通知する。

(2) 第2次募集

試験科目	試験期日・試験時間	試験場
面接試験	平成31年1月23日(水) 14:00～	鹿児島大学農学部 (注)

(注) 詳細は、受験票の発送の際に通知する。

3. 配点

面接試験は、段階評価します。なお、面接試験の成績が著しく低い場合は、合格の対象としません。

4. 面接試験

個人面接とし、20分程度で口頭試問を含めて行います。

5. 合否判定基準

面接試験により総合的に評価し、判定します。なお、評価が同点の場合は、同位とします。

【 共通事項 】

I 合格者発表

合格者の発表は、農学部・共同獣医学部共通棟正面玄関及び水産学部4号館正面玄関に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者本人に合格通知書を郵送します。

区 分	発 表 日 時
第1次募集	平成30年11月16日（金）10時（予定）
第2次募集	平成31年2月13日（水）10時（予定）

また、鹿児島大学農学部ホームページ（<http://ace1.agri.kagoshima-u.ac.jp/>）にも掲載します。
なお、電話・メール等による合否の問い合わせには一切応じません。

II 入学手続

合格者は、入学手続期間内に入学手続を行ってください。なお、入学手続の詳細は、合格通知書と同時に送付します。

1. 入学手続期間

入学手続期間は、次のとおりです。なお、入学手続期間内に入学の手続きを行わなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

区 分	入 学 手 続 期 間
第1次募集	平成31年3月6日（水）～3月7日（木）17時まで
第2次募集	

2. 納付金

入学金 282,000円（入学金改定が行われた場合は、改定額が適用されます。）

授業料 前期 267,900円（年額 535,800円）

（授業料改定が行われた場合は、改定額が適用されます。）

- (1) 願い出により選考の上、免除される制度があります。
- (2) 在学中に授業料改定が行われた場合は、新授業料が適用されます。

Ⅲ その他

1. 障害を有する入学志願者の事前相談

学校教育法施行令第22条の3に定める障害等（下表参照）のある志願者又は発達障害のある志願者で、その障害等の程度に応じ、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、事前に本学と相談してください。なお、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合も事前相談が必要です。

区 分	障 害 の 程 度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度なもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	1 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2 前号の程度に達しないものうち、常時の医学的な観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	1 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

(1) 時期

相談の内容によっては、対応に時間を要することがあり、本研究科の試験までに対応できず特別な配慮が講じられないこともありますので、次の期日までに相談してください。

区 分	事 前 相 談 期 日
第1次募集	平成30年9月4日（火）17時
第2次募集	平成30年11月7日（水）17時

(2) 方法

電話等により事前に連絡した上で、下記の内容を記載した書類（様式任意）を提出してください。

- ア. 志願者の氏名、生年月日
- イ. 志願者の現住所及び電話番号、保護者の連絡先
- ウ. 志願する研究科の専攻・コース名等
- エ. 障害の種類・程度（医師の診断書が必要な場合があります。）
- オ. 受験上特別な配慮を希望する事項
- カ. 修学上特別な配慮を希望する事項
- キ. 大学等在学中にとられていた特別な配慮
- ク. 日常生活の状況
- ケ. その他参考資料（身体障害者手帳等の写し）

(3) 問い合わせ先

鹿児島大学農学部・共同獣医学部等学務課学生係

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番24号

TEL 099-285-3553

FAX 099-285-3533

2. 社会人学生に対する修学上の配慮

(1) 教育方法の特例

本研究科では、修学を希望する社会人に対して、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を適用した「夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる」旨が規定され、社会人の修学に特別措置を行うことができるよう配慮されています。

(2) 長期履修制度

この制度は、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限（修士課程2年）を越えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することができる制度です。

※ 上記(1)(2)の制度の詳細は、入学時に問い合わせ先に尋ねてください。

入学者選抜試験個人成績の開示

平成 31 年度入学者選抜に係る受験生の個人成績を次の要領で開示します。

1. 開示内容

個々の科目の得点または評価並びに合否の別を開示します。

2. 開示期間

開示期間は合格発表後 2 ヶ月間です（平日の 9 時から 16 時）。

3. 開示請求者

開示請求者は受験生本人に限ります（代理人による請求は認めません）。

4. 開示方法

(1) 直接窓口で請求される場合

「大学院入試情報開示請求書」「平成 31 年度鹿児島大学大学院農林水産学研究科受験票」を必ず持参して、農学部・共同獣医学部等学務課学生係に来所してください。

(2) 郵送で請求される場合

下記の①～③を揃えて、必ず「簡易書留」とし、封筒の表に「入試情報開示請求」と朱書きしてください。ただし、開示期間中の消印のあるもの限り受け付けます。

① 大学院入試情報開示請求書（作成様式例を参照）

② 平成 31 年度鹿児島大学大学院農林水産学研究科受験票

③ 返信用封筒（長形 3 号封筒に 392 円分の切手を貼付し、受験生の住所、氏名を明記したもの）

※ 郵送による請求の場合は、本人確認のため、問い合わせをする場合がありますので、必ず電話番号（携帯可）を記入してください。連絡が取れない場合、開示できないことがあります。

(3) 請求先

〒890-0065

鹿児島市郡元一丁目 21 番 24 号

鹿児島大学農学部・共同獣医学部等学務課学生係

5. その他

平成 30 年度以前（農学研究科及び水産学研究科）の入学者選抜試験個人成績は開示しません。

（作成様式例）

大学院入試情報開示請求書

平成〇年〇月〇日

鹿児島大学大学院
農林水産学研究科長 殿

〒
請求者 住所
電話番号
氏名 ㊟

選抜の方法

〇〇〇〇（一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜の名称を記入）

専攻名 〇〇〇〇専攻

受験番号 〇〇〇〇

私の入試成績について、情報の開示を請求します。

（A4 縦型用紙を使用）

専攻・教育コースの内容

農林資源科学専攻

専攻	コース	指導教員	分野の内容
農林資源科学	植物生産科学	赤木 功(農) 池永 誠(農) 一谷 勝之(農) 遠城 道雄(農) 香西 直子(農) 境 雅夫(農) 坂上 潤一(農) 坂巻 祥孝(農) 志水 勝好(農) 清水 圭一(農) 下田代 智英(農) 角 明夫(農) 田浦 悟(遺伝子) 樗木 直也(農) 津田 勝男(農) 橋本 文雄(農) 朴 炳宰(農) 山本 雅史(農) 吉田 理一郎(農)	農作物・園芸作物の栽培，施肥，土壌診断，病虫害防除法，植物の遺伝的改良に関する高度な専門教育を行ない，それを生かして指導的立場で問題解決できる人材，地球温暖化等の環境の変化に起因する様々な農業生産上の問題に対して広い視野と国際性を持って取り組める人材を養成する。
	畜産科学	井尻 大地(農) 大久津 昌治(農) 大島 一郎(農) 大塚 彰(農) 岡本 新(農) 河邊 弘太郎(共通教育) 後藤 貴文(農) 下桐 猛(農) 高山 耕二(農) 中西 良孝(農) 三好 和睦(農)	高品質家畜の効率的かつ持続可能な生産管理と畜産物の高付加価値化・高度利用技術の開発に関する深い知識と実践的な技術を修得させる専門教育を行い，畜産の振興と発展，国際化等に関わる問題点抽出とその解決に際して，地域社会において中心的役割を果たせる人材を養成する。

専攻	コース	指導教員	分野の内容
農林資源科学	森林科学	井倉 洋二(農) 鶴川 信(農) 岡 勝(農) 奥山 洋一郎(農) 加治佐 剛(農) 地頭菌 隆(農) 寺岡 行雄(農) 寺本 行芳(農) 西野 吉彦(農) 畑 邦彦(農) 枚田 邦宏(農)	生物・生態学的側面からの森林の解明、国土保全、地域防災、水資源涵養、循環的な資源利用・再生産のための保護・管理計画、生産システム・計測技術の高度化、高機能性木質材料の開発、森林・林業に関わる社会経済・政策、林業再生、山村振興に関する高度な専門教育を行い、森林資源の持続的管理に取り組む人材を養成する。
	食料農業経済学	李 哉ヒョン(農) 坂井 教郎(農) 田代 正一(農) 豊 智行(農)	グローバル化が進む食料・農業・農村の問題について、社会科学的手法による専門的な教育を行い、食料・農業問題、地域振興およびアグリビジネスに関する高度な知識と実践力を備えた地域リーダー、政策立案者、アグリビジネス従事者の人材を養成する。

食品創成科学専攻

専攻	コース	指導教員	分野の内容
食品創成科学	食品科学	イブラヒム・ヒッサム(農) 加藤 早苗(水) 紙谷 喜則(農) 上西 由翁(水) 侯 徳興(農) 坂尾 こず枝(農) 進藤 穰(水) 濱中 大介(農) 宮田 健(農) 渡部 由香(農)	地域食品素材が有するタンパク質、脂質、糖質の基本的性質をはじめとして、それらが有する栄養、機能性成分と健康との関わりのみならず、加工特性や保存性、安全性に関する専門教育を行い、食品関連分野および地域において指導的な立場で活躍できる人材を養成する。
	先端生命科学	安部 淳一(農) 岡本 繁久(農) 加治屋 勝子(農) 北原 兼文(農) 小松 正治(水) 塩崎 一弘(水) 花城 勲(農) MCMフェスターガード(農) 藤田 清貴(農) 南 雄二(農) 山田 章二(水)	先端的でかつ学際的な生命科学に関する知識と技術を修得し、先端的な生命科学研究を遂行するための専門教育を行い、地域生物資源のリスクとベネフィットの関係性を理解したうえで、その利活用ができる能力を有する人材を養成する。

専攻	コース	指導教員	分野の内容
食品創成科学	焼酎発酵・微生物科学	石橋 松二郎(農) 岩井 久(農) 奥津 果優(農) 高峯 和則(農) 玉置 尚徳(農) 鶴丸 博人(農) 中村 正幸(農) 二神 泰基(農) 吉崎 由美子(農)	微生物をはじめとした生物機能の利用に関する専門教育を行い、これらの知識と技術を身につけ、食に係る分野および地域産業として特色のある焼酎、発酵食品産業で活躍できる人材を養成する。

環境フィールド科学専攻

専攻	コース	指導教員	分野の内容
環境フィールド科学	生物環境科学	遠藤 光(水) 久米 元(水) 小針 統(水) 寺田 竜太(連大) 本村 浩之(博物館) 山本 智子(水)	黒潮の影響を強く受けた南西諸島と南九州周辺の環境特性及び生物に与える影響に関する科学的知識と高度な調査技術を身につけ、地域環境の監視、生物資源の活用と生物相の保全について実践的に取り組むことができる人材を養成する。
	環境システム科学	伊藤 祐二(農) 神田 英司(農) 重廣 律男(水) 芝山 道郎(農) 末吉 武志(農) 須本 祐史(水) 中村 啓彦(水) 西 隆一郎(水) 仁科 文子(水) 肥山 浩樹(農) 平 瑞樹(農) 榎井 和朗(農)	南西諸島と南九州周辺の陸域・海域に特有の気候・環境・災害に関する科学的知識を身につけ、それらの知識とフィールドデータセンシングやロボットなどの先進技術に基づき、地域環境の保全、地域資源の活用、農業生産基盤の整備、農業気象災害のリスク評価およびその軽減について実践的に取り組むことができる人材を養成する。

水産資源科学専攻

専攻	コース	指導教員	分野の内容
水産資源科学	生物資源科学	安樂 和彦(水) 石崎 宗周(水) 江幡 恵吾(水) 大富 潤(水) 土井 航(水) 西 隆昭(水) バスクス アーティル ミゲル (水) 山中 有一(水)	水産資源生物の持続的な開発への貢献を目指し、資源生物の分布や再生産に関わる生態、資源生物の行動メカニズムの理解と漁業技術への応用、選択的漁獲技術、漁労活動の省力・省エネ化、音響機器による資源計測・評価、フィールド調査法、データ分析法に関する専門教育を行う。水産資源生物や漁業技術に関わるグローバルな専門知識を備え、資源の持続的利用の実現に貢献できる人材を養成する。
	増養殖学	石川 学(水) 小谷 知也(水) 竹内 裕(水) 田角 聡志(水) 山本 淳(水) 横山 佐一郎(水)	増養殖は水産資源の持続的な維持増大に大きく貢献する手法である。増養殖学コースは、豊かな養殖漁場を持つ南九州海域及び陸水域を学びの場として、増養殖に必要な生殖技術、種苗生産、栄養・飼料、魚病・免疫に関する専門教育を学際的及び実践的な視点から実施する。これにより、国際的水準の知識と技術を修得し、国内外の増養殖産業における課題を解決できる、高度な専門性を備えた水産技術者を養成する。
	環境保全学	宇野 誠一(水) 奥西 将之(水) 國師 恵美子(水) 前田 広人(水) 吉川 毅(水)	水圏生物資源生産の場としての漁場環境の保全を目的として、化学物質による水圏環境の汚染と水圏資源生物や水圏生態系に対する影響評価、漁場の富栄養化と赤潮、これら諸問題の解決法に関する高度な専門的知識、現場調査法、高度機器を用いた汚染物質や生体高分子物質の分析法と関連するデータベースの利用法を教育し、水圏汚染環境の修復やその影響を受ける水圏生物資源生産・活用の中で活躍できる人材を養成する。
	流通・政策学	久賀 みず保(水) 佐久間 美明(水) 佐々木 貴文(水) 佐野 雅昭(水) 鳥居 享司(水)	「水産業が他産業では代替できない貴重な食料供給産業であり、国民経済上並びに南九州の地方創生を考える上で不可欠な存在である」との認識を基礎として、水産資源と漁場の合理的利用、水産業を核とする地域活性化、水産業の安定的発展と水産政策、水産物の流通と加工、水産物の消費とマーケティングに関する高度な専門教育を行う。流通・政策をデータに基づき分析する研究能力を持ち、水産振興による地域創生を実現するための流通モデル・経営モデル・政策モデルを開発することにより消費者ニーズに適合した水産物供給を支援することができる人材を養成する。

※ () は教員の所属学部等を示す(例：(農)は農学部，(水)は水産学部)。

※ 各指導教員の研究内容については鹿児島大学のホームページから「鹿児島大学研究者総覧」を参照。

URL:<http://ris.kuas.kagoshima-u.ac.jp/>